## 総合事業・生活支援体制整備事業の取組み 西和賀町が目指す 地域包括ケアシステム

# 人と人、心をつなぐまちづくり

平成28年10月5日 西和賀町健康福祉課

## 本日の内容

- 1 西和賀町の概要
  - 2 事業までの取組みの経過
    - 3 早期移行を判断したポイント
      - 4 総合事業への移行スケジュール
        - 5 総合事業の内容
      - 6 実施するまでの苦労
    - 7 事業を実施したことによる効果
  - 8 今後の展望
- 9 これから移行する自治体へのアドバイス



西和賀町の概要

岩手県の南西部 秋田県境に位置 東西20km 南北50km 面積590.74Km

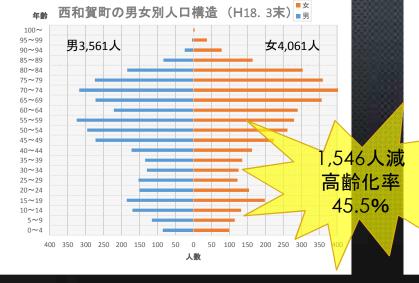


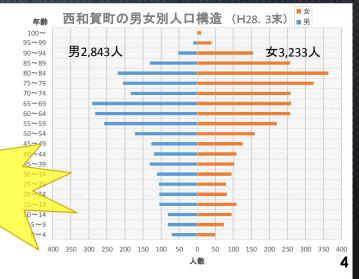
# 西和賀町の人口

合併時 7,622人

# 平成17年11月1日合併時から

平成27年度末 6,076人







# 地域包括ケアシステムの構築 ~平成30年 医療・介護・予防・住まい・生活支援

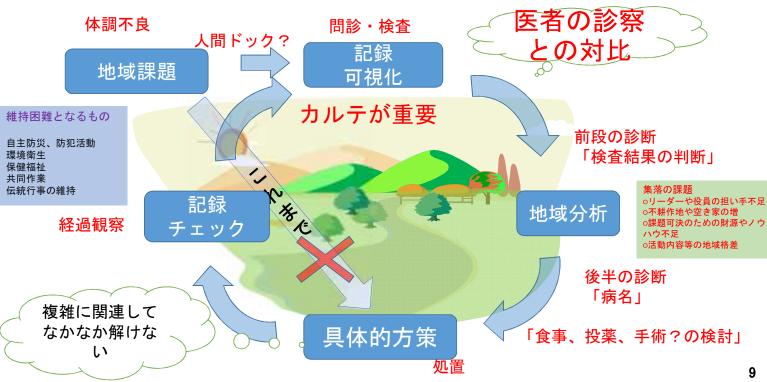


# 地域包括ケアシステムの構築 ~平成30年

医療・介護・予防・住まい・生活支援



# 地域診断の必要性、重要性(可能性を探る)



# 在宅生活の障害となる雪





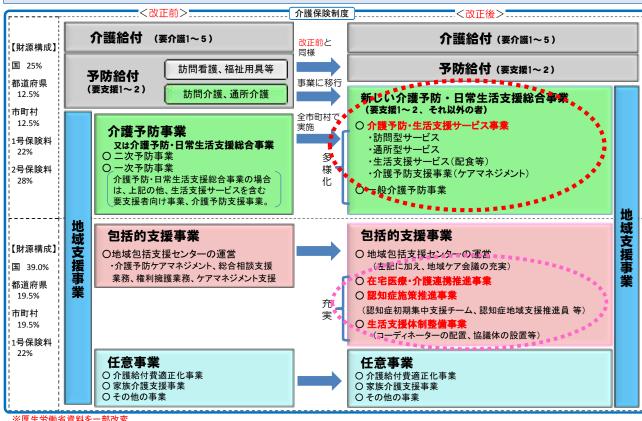


災害時要援護者619世帯一人暮らし高齢者 334人高齢者世帯 285世帯



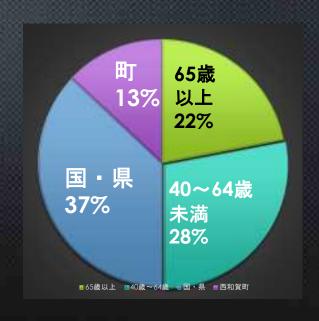


#### 地域支援事業の全体像



# 第6期 介護保険料(27年~29年)

- 月額基本保険料 6,100円
- 年間73, 200円
  - (最高 盛岡市6.174円
    - 最低 遠野市4,995円)
  - 年間必要保険料1億8千万円
- 所得に応じて10段階 年額 33,000円~128,100円
- 低所得者軽減対象者 1号2,757人のうち1,558人 56%



# 

## 総合事業への移行

# (平成28年1月移行スケジュール)

	26年 12月	27年 2月~3月	5~7月	8月	9月~10月	11月	12月
西和賀町 (保険者)	総合事業早期移行に向けた自治体意見交換会	第6期 高齢者福祉 計画及び介 護保険事業 計画認定	早期移行 セミナー 先進地視察 秋田県 小坂町他	総合事業の 内容者把握 事業施要 原案作成	実施要綱 見直し 事業所検討 サービス事で との協議	平成27年 補正予算 及び 平成28年 当初予算 協議	実施 等制定 契約 システ修 128年1月 住民説明会
管理運営 委員会			総合事業の 概要説明 移行スケ ジュール 説明		実施する 総合事業 の内容協議 事業計画		総合事業 説明 補正予算 説明 16

# 地域支援事業 介護予防·日常生活支援総合事業

## 要支援者への介護サービス切り替え

## 平成28年5月実績 179万円

訪問型サービス ホームヘルプサービス 18件

通所型サービス デイサービス 50件

総合事業 ケアプラン 50件

C、D区はA型サロン (緩和基準によるサービ ス) ⇒初開催や希望により継 続する等、事業所関与に 悠々館、かたくり よる公民館サロンを開催 雪つばき、ひなたぼっ している地区等は、『A 型サロン』と考える。 西和賀町各行政区 (現在の受託事業所) E区はB型サロン (住民主体によるサービ A型サロン B型サロン ス) 笑い笑い教室 (通所型サービス) 住民主体サロン ⇒既存の公民館サロンか (ニチイ学館) 医施地区 (月1回) ら住民主体サロンへ移る 実施地区(月1回) ⇒廃止 意向のある地区は、『B型サロン』と位置づける。 A区 CE B区 EX DE さわうち病院等 F区 のリハスタッフ(地域リハビリテー ション活動支援事 ⇒サロンの種類に関 G区 係なく、計画的かつ 定期的に地区に入る お達者教室 (済生会・繋温 泉) ⇒これを機会にB型 B、F、G区は通所型サービス(A型)と住民主体(B サロンが始まるよう なきっかけにしても らう 型)の併用 保健師(包括·保健G)、看 エグランドの →継続して実施している地区の中でも、自発的に出来る地区と出来ない 地区があると思われる。そこから急に手を離すのではなく、2回や3回 に1回は事業所が関与するようにしたい。それにより、事業所が開催す る延べ回数も減ることから、負担軽減となる。また、その分他の新規地 区へ関与することが出来るようになる。 護師、歯科衛生士等の専門職 ⇒出前譴座や健康教室を活用

17

#### 地域主体の介護予防 (公民館サロン)

#### A型公民館サロン

- 社会福祉法人・NPO
- 4事業所に委託 町内14箇所 165人
- 開催1回 18,000円
- 要支援者数+事業対象者数×2,600円
- 参加費 自己負担 500円介護予防(運動)機能評価 趣味創作活動健康教育 レクリエーション 花見

### B型サロン事業化に向け (試行12月~3月)

- 住民主体の地域サロン
- 月1回のサロン開催 (5人以上)必須事項

除雪、買い物、見守り等 対象者の把握と支援 サロン月1回 15,000円 地区加算 65歳以上の人数×200円

19

### 地域包括ケア推進の取組み 人材・資源・基盤づくり(教育)と連携

#### 医療介護の専門職

社会福祉士会 栄養士会 保健師の会 西和賀町看護会 病診連携会議 介護福祉士会

ボランティア養成

生活支援サポーター シルリハの会 健康づくり (生活習慣病予防)

介護予防

生活支援 (除雪・移送)

権利擁護(法人後見)

#### 地域資源

医療介護福祉施設 NPO 深澤晟雄の会 NPO輝け命ネットワーク 皆で健康を守る会

#### 行政組織

行政区長 消防団 保健委員(保健推進員) 民生児童委員 老人クラブ単位会 婦人団体連合会

# 西和賀さわうち病院

医療介護連携拠点

地区公民館 お達者教室

さわうち病院

北上済生会病院 繋温泉病院 通所リハビリ(送迎有) 火・金 定員20名

減塩給食 1日8g以下







## 公民館サロン

体力測定(全国老人クラブ連合会高齢者向け体力測定参照)

Ⅳ.1 OM障害物歩行(調整力を測定)





## 公民館サロン



## 公民館サロン

趣味・創作活動・昼食・余暇活動(花見)







## にしわが福祉カルテシステム

#### ソフト・ハードの特色

タブレットを使って、どこでも使える

情報を表・グラフ・地図で解りやすく表現

利用者による情報のアクセスを管理

#### データの特色

国の提供する統計情報、地図情報を活用

自治体の提供する統計情報、地域資源情報、福祉情報、防災情報情報を活用

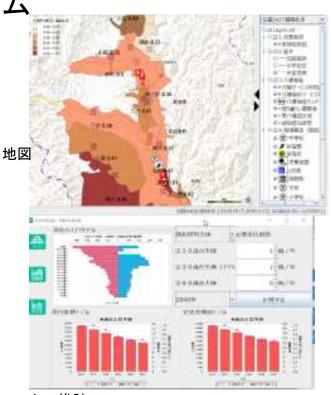
地域の情報を皆で作成、追加



にしわが福祉カルテシステム



表・グラフ



人口推計

25

# 認知症対応研修会 医療介護従事者対象



第1回	認知症の周辺症状 BPSD	6月
第2回	認知症の薬物療法	8 F
	認知症を理解する講演会	9月
第3回	認知症の非薬物療法	10月
	民生委員定例会でのワークショップ	10月
第4回	認知症対応シンポジウム	2月
	地域で安心して暮らすために	









#### ボランティア育成

#### シルバーリハビリ体操 3級指導者養成





29

# 医科歯科連携による在宅医療支援





在宅医療設備整備事業

携帯用心電図 ホルター心電計 携帯用血液ガス分析装置 携帯用超音波診断装置 在宅用吸引器 在宅用歯科機器 運動機能測定セット リハビリマット・血圧計 他



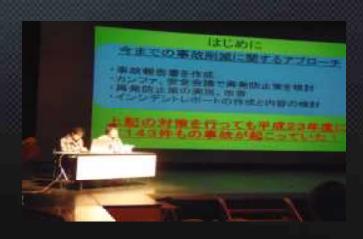


#### 第5回西和賀町医療介護福祉研究発表会

町内医療介護福祉事業所代表者による実行委員会を組織

企画立案運営すべて実行委員会が担当顔の見える関係づくり





31

# 今後の展望 (コミュニティの再生)

- 地域主体の集いの場づくり(公民館サロン)
- 介護予防と健康づくりの一体化(行政)
- 小学校区圏域による拠点づくり

NPO法人の育成

(移送支援、除雪支援、生活支援等)

これから移行する自治体へ

社会資源の少ないところほど 行政依存度が高く

住民主体の取組みまで 意識改革や人材養成に時間がかかる

# 地域づくりによる介護予防を推進

